

平成24年度 青年・女性建築士の集い 「中四国ブロック山口大会」に参加して

6月9日(土)・10日(日)、山口県萩市において「青年・女性建築士の集い 中四国ブロック大会」が開催され、当会より青年33名・女性9名・合計42名で参加して参りました。菊竹清訓氏設計による萩市民館で本大会があり、基調講演では、萩市文化財保護課の大槻洋二主任専門員より、萩の伝建地区街並み保存を中心に、まちづくりに対する建築士の関わり方についてのお話を伺いました。

地域実践活動報告会では、「呉こども工作教室」「歩いてさがそう未来のまち」の2事業を当会から事前にエントリーし、「歩いてさがそう未来のまち」が本大会報告発表5事業のうちの一つに選出されました。森川・家頭・宮崎の3名により発表を行い、結果は優秀賞(2位)。最優秀賞は、徳島県の「あしたのひょうたん島プロジェクト2011～ひょうたん島川の駅構想～」が選ばれました。今年度の最優秀と昨年度の最優秀の愛媛県の2事業を、10月に茨城県で開催される全国大会で発表することとなります。

社会活動委員会 青年部会 部会長 柳河 元木

2日目、萩市内でエキスカージョンが行われました。私は、国選定重要伝統的建造物群保存地区である浜崎地区の町家の見学に参加しました。町家の内部にも入らせて頂き、家主の方に説明を受け、町家暮らしを実感することができました。青年・女性の活動とともに、まちづくりに対する活動、また防災に対する活動が多く継続して行われていると感じました。

当会の社会活動委員会青年部会・女性部会は、子どもを対象としたウォークラリーを、毎年各支部地区で合同事業として行っています。今年は4年目となり、尾道で8月5日に行います。全7支部で行われた時に見えてくるモノは?各地域の子どもたちが自分たちの街を知り・好きになり・街のことを考える。そして我々建築士も社会的関わりの意義について考える。またこの事業を通して、建築士会の発展に繋がる活動となるようにも取り組んで参ります。各地域での多くの皆さまの御協力をお願い申し上げます。



ぷろじえくと ニュース 広島支部

「広島キッズシティ2012」出店のお知らせ

広島支部の青年部会・女性部会合同で、「広島キッズシティ2012」に出店します。キッズシティとは、販売・ものづくり・飲食などの様々な職業体験ができる「子どもたちが主役のまち」をつくり、その中でキッズアルバイト(小学生の子ども)が自らの意思で職業体験やまちづくりにチャレンジするというものです。

オーナーには企業や各団体が、店長には大学生や

専門学校生などがなり、一緒に店舗づくりを行います。そこに広島県建築士会として参画し、子どもたちに建築に関する仕事の体験をしてもらう予定です。今から子どもたちや学生たちとの交流が楽しみです。皆さんも是非お立ち寄りください。

日時: 2012年10月7日(日)～8日(月・祝)

場所: 広島市中央公園自由広場

主催: 広島キッズシティ2012実行委員会

8月・9月の行事予定

8 August

18 土・一級建築士製図試験対策講習会(福山支部青年委員会)

19 日・一級建築士製図試験対策講習会(福山支部青年委員会)

9 September

9 日・二級建築士「製図」試験(県立広島大)

29 土・一級建築士製図試験対策講習会(福山支部青年委員会)

30 日・一級建築士製図試験対策講習会(福山支部青年委員会)

MONTHLY 建築士 HIROSHIMA

No.74 平成24年8月1日発行

発行 社団法人 広島県建築士会

〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号

TEL (082) 244-6830(代) FAX (082) 244-3840

URL <http://www.k-hiroshima.or.jp/>

e-mail: info@k-hiroshima.or.jp

発行人 会長 錦織 亮雄

編集人 広報委員長 神岡 千春

MONTHLY 建築士
No.74

HIROSHIMA



表紙写真について

呉商工会議所

- 設計／横山建築研究所
- 監理／五洋建設株式会社、株式会社 増岡組
- 施工／株式会社 神垣組
- 所在地／呉市本通4丁目
- 構造規模／鉄筋コンクリート造一部鉄骨造8階建
- 用途／特別養護老人ホーム、事務所等
- 敷地面積／828.23㎡
- 建築面積／712.25㎡
- 延床面積／4,804.34㎡
- 竣工／平成24年7月
- 撮影／スタジオ・ブルスカイ

明治22年、呉に鎮守府が開庁し、工廠や軍用施設に始まった呉のレンガ建築は、駅前から中心市街地まで敷き詰められた。レンガ歩道や市文化ホール等、呉市のイメージ、そして街の色はレンガ色と映るようだ。

呉商工会議所ビルは市庁舎から程近い中心市街地に2棟で構成し、新築した。外観は呉市のイメージを高める



為、レンガタイル貼りとし呉市の歴史的景観を意識した。本館は市民の為のホールや商工会議所事務所、政府系金融機関や関係団体事務所、大小会議室等々、文字通り商工業者にとって極めて利便性の高い施設として、本市の商工業の発展に寄与する拠点となるはずである。

南館は社会福祉法人の特別養護老人ホームが入居し、中心市街地での、老人福祉サービスをきめ細かく行えるよう配慮した。

7階の空中渡り廊下は、会議所ビルとしての機能をつなぐだけでなく、高層の老人の避難誘導をより安全に行えるように考慮したものである。

建築士試験シーズン突入！

ご承知のように、建築士には「一級建築士」（国土交通大臣免許）「二級建築士」「木造建築士」（都道府県知事免許）の3種類があります。それぞれの資格取得のための試験は建築士法に基づき、財団法人建築技術教育普及センターが国や都道府県の指定試験機関となっており、広島県においては、昭和59年から実質的な受験に関する業務を広島県建築士会が行っています。

例年、まず学科試験からスタート。今年度の試験は二級建築士が7月1日（日）、一級建築士と木造建築士が7月22日（日）に実施されました。昔は冷房施設のない受験会場で、流れ出る汗を拭きながら学科試験に臨んでいましたが、今は冷房の効いた快適な会場で受験できます。以前は廊下に喫煙用のバケツが置かれていましたが、今では試験会場が禁煙となっていて、愛煙家にとっては辛い（？）環境かもしれません。

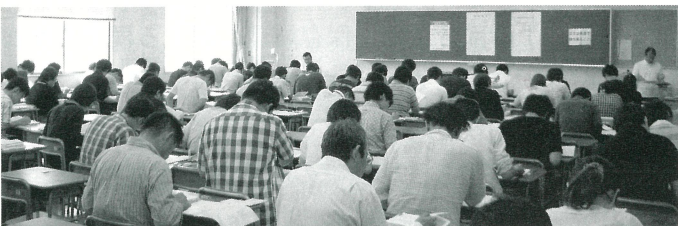
また、以前は試験問題用紙は持ち帰り禁止でしたが、今は試験時間終了後は問題用紙を持ち帰ることができます。そのためすぐに得点の把握ができ、迅速な製図試験への対応が可能です。合格者には採点結果を通知してくれるため、自分の実力を把握できるようになりました。

学科合格者は、次に設計製図試験に挑みます。二級は9月9日、一級と木造は10月14日。受験者にとっては、まだまだ暑い日々

試験業務委員長 山崎 達雄

が続きます。難しい社会情勢の中ですが、今後の日本を担う建築士候補のご健闘を心から応援しております。フレー！！フレー！！受験生！！

試験業務委員会は、建築士試験の試験申し込みの受け付けから、実際の学科試験、製図試験の会場設定や試験監督等の実務を担当しています。合格の暁には、建築士会に加入して、私たちと一緒に後輩建築士の誕生を見守ってみませんか。



参考データ(平成23年度)

	木 造		二 級		一 級	
	学科	製図	学科	製図	学科	製図
実受験者数	691	434	23,012	13,389	32,843	11,202
合格者数	364	277	8,784	7,039	5,171	4,560
合格率	57.7%	63.8%	38.2%	52.6%	15.7%	40.7%
総合合格率	35.1%		24.8%		11.7%	

＊試験に関する詳しい情報は財団法人建築技術教育普及センターのHP（<http://www.jaic.or.jp/>）をご覧ください。

CPD認定プログラム(8～10月の広島県内実施分)

7月20日現在

日 時	プログラム名	単 位	主 催	連絡先
8/1	工事施工管理要領（機械）講習会	2	公共建築協会	03-3523-0381
8/1	工事施工管理要領（電気）講習会	2	公共建築協会	03-3523-0381
8/4	「土工・地業と躯体の積算」入門編 講習会	6	日本建築積算協会	082-221-9759
8/5	ウォークラリー「歩いてさがそう未来のおのち」	4	広島県建築士会	082-244-6830
8/7	足場の組み立て等作業主任者能力向上教育 in 呉	7	建災防広島県支部	082-228-8250
8/7	施工管理者等のための足場点検実務者研修 in 呉	4	建災防広島県支部	082-228-8250
8/9	スマートリノベーションによるリフォームについての研修会	3	日本設備設計事務所協会	082-541-5830
8/11	「土工・地業と躯体の積算」実務編 講習会	6	日本建築積算協会	082-221-9759
8/18	「土工・地業と躯体の積算」実務編 講習会	6	日本建築積算協会	082-221-9759
8/22	第6回木造建築セミナー	2	林業・木材産業協議会	082-272-4553
9/1	「土工・地業と躯体の積算」実務編 講習会	6	日本建築積算協会	082-221-9759
9/8	「土工・地業と躯体の積算」実務編 講習会	6	日本建築積算協会	082-221-9759
9/15	「土工・地業と躯体の積算」実務編 講習会	6	日本建築積算協会	082-221-9759
9/29	「鉄骨の積算」入門編 講習会	6	日本建築積算協会	082-221-9759
10/6	「鉄骨の積算」実務編 講習会	6	日本建築積算協会	082-221-9759
10/10	建築士の定期講習	6	広島県建築士会	082-244-6830
10/13	「鉄骨の積算」実務編 講習会	6	日本建築積算協会	082-221-9759
10/17	新 総合工事業者のためのリスクアセスメント研修第2回	7	建災防広島県支部	082-228-8250
10/20	「内訳書の作成と値入」講習会	6	日本建築積算協会	082-221-9759

株式会社 ティーエス ◆ ハマモト

一級建築士事務所 ISO9001 認証取得



大規模修繕工事
各種環境対応事業
調査 診断 設計 施工

〒731-0135 広島市安佐南区長束4丁目16-2
TEL 082-238-1511 FAX 082-238-1513

指定確認検査機関
(中国地方整備局長指定第1号)

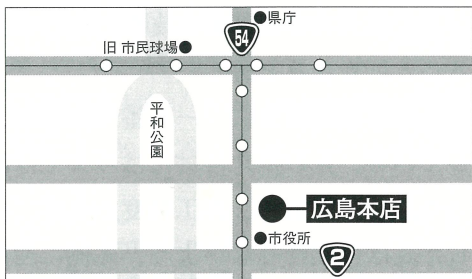
登録住宅性能評価機関
(中国地方整備局長登録第5号)

登録建築物調査機関
(中国地方整備局長登録第1号)



ハウスプラス中国住宅保証株式会社

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1丁目3番32号
TEL: 082-545-5607(代表) FAX: 082-545-5608



地域だより 天空の白鷺「姫路城大天守修理見学施設」視察研修会

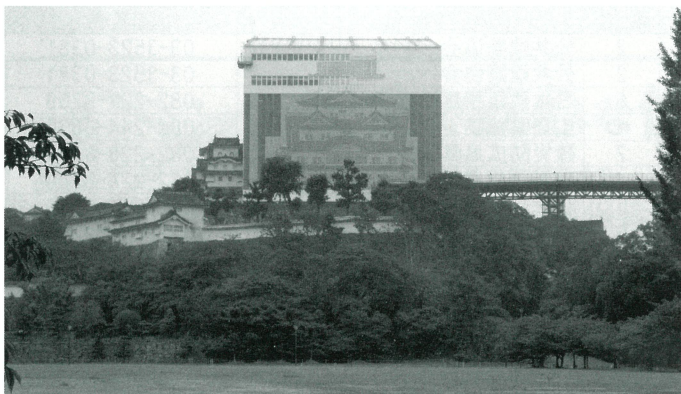
東広島

東広島支部 高尾 康明

6月30日、姫路市が平成21年10月から5年間をかけて実施中の、「国宝・姫路城大天守」保存改修工事の視察研修会を東広島支部主催で開催した。

現地には修理状況がいつでも見学できるよう、大天守を覆う仮設の素屋根の1部に見学ゾーンの施設が配置されている。1階部分には、保存修理に関する模型や映像による紹介がされており、エレベーターで移動する7、8階では、大天守と同じ目線で見学できるよう造られていた。また、屋根瓦や壁漆喰の改修部分の実物大模型、漆喰の製造工程や壁漆喰構造の詳細なパネル展示もある。

屋根瓦は昭和の大修理の時に、瓦職人の発案で、壊れていた24ミリ厚の瓦を屋根の軽量化のため18ミリと薄く作られている。焼き入れ温度を800度から1,500度と高くした結果、瓦8万5百枚のうち2%が壊れていたが、この薄い瓦は殆んど壊れていなかったということだった。丸瓦の下は空洞で、屋根目地は漆喰塗り。これは風雨に対する補強、また下から見上げると真っ白に見えるという美的な意味もあるようだ。



この先、50年後の改修時に、果たして壁漆喰の材料（消石灰を除く）の「貝灰（かいばい）、すさ、海草糊」が、確保できるのか。できないと、これらを加工する職人がいなくなり、工法が廃れてしまう。このままでは文化財である建造物などの保存修理ができなくなるとの危機感から、常時見学できるこの施設を設置したようである。これには文科省の意向もあるように思われる。我々建築士が漆喰壁などの伝統的な土塗り壁を住宅に取り入れることも、職人への経済的な支援となり、技術の伝承を支えることにもなると感じた。

軒先瓦は先端部分にシール番号を付け、元の場所に設置している。瓦の据え付けには今までは取り入れていなかった瓦棧を設置し、施工精度を高めている。また、新調した瓦は目立たせないよう、北側に使用している。

7階に移動し、壁や屋根の施工状況の説明を受ける。



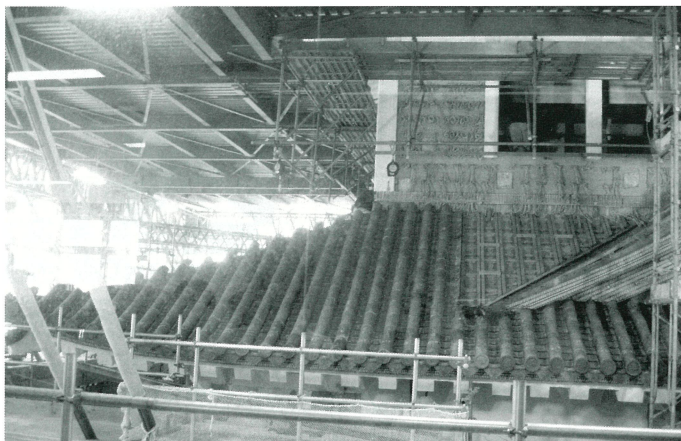
床面には大天守を支える東・西大柱の実物大の断面シールが2カ所あり、東の大柱は地階から5階まで1本物のモミの木を使用。昭和の大修理で樹齢680年、建築後400年、既に1,000年以上経過しているが、強度的にはいまだに大丈夫であるとのことだった。一般的に、樹齢500年の木は500年間はもつと言われているが、この木はそれ以上経過しており、霊験あらたかな木である。

西の大柱は地階から3階までは1本物であり、3階でジョイントしているが、昭和の大修理で腐食していたため、木曽の国有林の桧に取り替えられている。阪神淡路大震災による被害は無かったが、山崎断層が北側を走っており、震度6に耐えられるよう事前調査・検討を行った。1部の床に鉄棒を入れて補強を行うが、壁については3階までは厚さが45cm、4階から上は35cmなので、補強の必要はないとのことだった。

工事の進捗状況は、目立たないが着実に進んでおり、順調である。素屋根の外壁部分に実物大の城の絵が描いてあるのは誰の発想なのかは分からないが、昭和の解体修理を請け負った、鹿島建設が描いた当時の図面を使用しているとのことであった。

平成26年の完成が待ち望まれる。ぜひまた、化粧直した白鷺城に会いたいものである。

(施工/㈱鹿島・㈱神崎組・立建設㈱共同企業体)

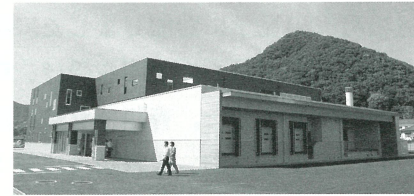


地域だより 三原市学校給食共同調理センター見学会

三原

三原支部 平原 隆浩

6月29日、三原支部主催の三原市学校給食共同調理センター見学会があり、建築士と一般参加者40人が三原市建築課の豊岡課長より説明を伺いました。建物の設計は、「村田相互設計」。「S造2階建て・延床面積2,821.12㎡」の建物を、「山陽建設・平畑建設共同企業体」で施工しました。



旧三原市にある小学校11校と中学校7校の給食をここで調理して配送する給食センターです。ゾーンニングは材料の下処理をする施設（クリーン度を求めない）と、調理をし、保管して配送車に送るまでの施設（クリーン度を要求される）に分けられており、小学生や中学生に届けられる安全な給食は、建物の設計段階から良く考慮

地域だより 第1回省エネ対策講習会「家庭用燃料電池エネファームの取り組み」

呉

呉地区支部 青年委員会 原田 聖将

呉地区支部青年委員会では、6月29日（金）、呉高専において、省エネ対策講習会を開催しました。第1回目の今回は、広島ガス（株）より栗林氏を講師にお招きし、「家庭用燃料電池エネファームの取り組み」の講義をして頂きました。平日の夕方にもかかわらず、31名の参加がありました。

「家庭用燃料電池エネファーム」とは一体何なのか？恐らく50ccくらいの小型エンジンで発電し、蓄電されるようなシステムだろうかと想像していましたが、全く違うものでした。ガスから水素を作り、それを空気中の酸素と化学反応させて電気を作り、その過程で発生した熱でお湯を作るというシステムでした。メリットは、家庭で作る電気であるため送電ロスやCO₂の排出量が少

なれていると感心しました。また、調理してから2時間以内に食べられるよう、調理機器も揚物機・真空冷却機・スチームコンベクション等、まるで工場のような施設に、一般の参加者の方は興味深く説明を受けられていました。

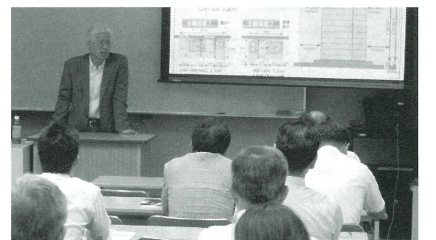
そして私が最も感心したのは、使われる人の立場に立って工期も配慮されたという点です。公共工事といえば年度末に完成するイメージでしたが、春は人事の入れ替えがあり、仕事に慣れるのが大変な時期でもあります。新施設と新機械の取り扱いや調理計画などを考慮すると、夏休みを準備期間として9月にスタートとした方が良いという教育委員会からの提案を受け入れ、6月末の完成になったとのことでした。

今回は叶いませんでしたが、給食の試食ができたなら料理の魅力の観点からも報告できたであろうと思います（残念～！）。

なく、生活スタイルに合わせて発電し、お湯を自動で作ることができるということ。設置スペースも最近ではシステムが簡素化され、開発当初よりもかなりコンパクト化されてきているとのことでした。

質疑応答の際には、たくさんの質問がありました。皆様もとても興味を持って下さったようでしたし、私たち青年委員会にも大変勉強になりました。

今回は、「住宅建材での省エネ対策講習会」を行う予定ですので、ご参加のほど、よろしくお願い致します。



既存建築物の耐震診断・改修計画判定業務を行っています

（既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会加入）

- | | | |
|----------------|------------------|-----------------|
| ■ 指定確認検査機関 | ■ 登録住宅性能評価機関 | ■ 指定構造計算適合性判定機関 |
| ■ 登録建築物調査機関 | ■ 適合証明業務(フラット35) | ■ 長期優良住宅認定審査業務 |
| ■ 住宅瑕疵担保責任保険業務 | ■ 調査診断業務(耐震診断等) | ■ 耐震診断判定業務 |
| ■ 住宅エコポイント関連業務 | | |

URL <http://www.jesupport.jp/>

皆様に、より良いサービスの提供に努めてまいります。



株式会社 ジェイ・イー・サポート

代表取締役 石山 講

本社〒730-0029 広島市中区三川町7-1
SK広島ビル4F

TEL:082-546-1378 FAX:082-249-7190

e-mail: mail@jesupport.jp

支店:東京・札幌 営業所:呉